

学科名	情報学科							
科目名	情報学プロジェクトⅡ							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	必修							
担当者	情報学科全専任教員							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題について、具体的な企画を構想できる能力を身に付ける。 課題を実行していく上で、種々の問題を設定し、解決の糸口を見いだせる。 チームで意志統一を図り、コミュニケーションを緊密にして、対応する能力を養う。 最終的な結果により、社会的にどのような影響・効果が発生するかを想像できる。 課題に対する成果をパワーポイントなどを用いて発表することができる。 							
日程と内容	<ol style="list-style-type: none"> 導入講義：授業の進め方とプロジェクト課題の概要、成績評価法の説明を行う。 配属されたプロジェクト別に課題と背景について、指導教員から概略説明を行う。 課題について、実現可能性等を総合的に考えて最終企画書原案を作成する。 最終企画書原案①：役割分担、作業工程、必要資源、必要ツールを検討。 最終企画書原案②：コスト、顧客層、保守の必要性の有無、職業倫理を検討。 中間発表準備：発表資料準備、役割分担の確認を行う。 プロジェクト中間発表。 指導教員の指導の元で作成された企画書を学科に提出するとともに、理解を深める。 企画書に対して中間発表で指摘された事項について、修正・改良を行い、作成し直す。 プロジェクト最終完成を目指して、各工程での最終検討を行う。 グループ内でメンバーが各自課題の解決策を出し合う。 報告発表会準備①：発表会のための資料の整理、図表等を作成する。 報告発表会準備②：グループ内で発表を行い、問題点を検討する。 情報学プロジェクトⅠ報告発表会：課題について得られた内容の発表と質疑応答を行う。 企画書・報告書を作成し提出する。 							
成績評価基準	定期試験	0%	実技	20%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション	20%	課題	20%		20%
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	情報学プロジェクトⅡは、情報学プロジェクトⅠに引き続き、エンジニアリング・デザイン能力として要求されている、構想したものを図、文章、式、プログラム等で表現する能力などを育成することを目標としている。さらに、課題の改良点・修正方法を継続的に計画し、実施する能力を養うことも目標としている。得られた成果は、総合的に、情報学プロジェクトⅡ報告書として文書化し、報告発表会で口頭発表する。							
反省点	本年の特徴は、最終発表は良かったが、報告書作成の段階で、かなりの未達成が目立った。							
来年度の計画	本年と同様。							
授業評価アンケートに対するコメント	感想として「面倒見が良かった」などと、概ね肯定的であったが、中には内容が難しかったというもあった。							
履修登録者数	64名	定期試験 受験者数	64名	合格者数	64名	合格率	100%	